

平成 29 年度 新収蔵作品介绍

茨城県
近代美術館

茨城県近代美術館では、県内外の皆様から作品寄贈のお申し出をいただくなど、毎年途絶えることなく作品を収集してきました。平成 29 年度も多くのご寄贈をいただき、日本画 4 点、油彩画 1 点、版画 20 点、彫刻 5 点の合計 30 点が、新たに美術館の所蔵品に加わりました。

このうち、佐藤太清、松本哲男、麻生三郎、堀内正和の作品は、いずれも作者のご遺族からご寄贈いただいたものです。また、県内の版画コレクターであった照沼陽子氏からは、駒井哲郎をはじめとして日本近現代の版画作品 19 点をご寄贈いただきました。

これらの寄贈により、当館のコレクションはより充実したものとなりました。この場をお借りして、作品をご寄贈くださいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

新収蔵作品は、所蔵作品展の中で随時ご紹介いたします。

日本画



佐藤太清「飢」1967(昭和42)年 佐藤ひろ氏寄贈

作者は妻の故郷であった茨城県東海村をたびたび訪れており、茨城に取材した作品がいくつか知られています。本作品も東海村の野焼きのスケッチを元にしており、さらに日本の古画を研究し、炎の表現に活かして完成させたそうです。



河本真里「雨宿り」2016(平成28)年 作者寄贈

再興第 101 回院展で第 22 回天心記念茨城賞を受賞した作品です。雨宿りする鳩を中心に、森の植物を細密に描き、さらに全体を雨の雰囲気の中に溶け込ませています。院展の新進作家として期待される作者は、天心記念茨城賞を最年少で受賞しました。



松本哲男「マチュピチュ」2001(平成13)年 松本育子氏寄贈

作者は毎年のように海外を訪れ、大自然や古代遺跡などを描き続けました。ペルーのマチュピチュはインカ帝国の古代都市。様々に視点を動かしながら描き取った細密な描写が大画面を満たし、臨場感溢れる作品となっています。